

# 電子情報ボードを使った効果的な授業実践例

金沢市立大野町小学校 教諭 辻 和久

kazu@yu.incl.ne.jp

http://www.kazuhin.com/

キーワード：電子情報ボード，画像利用，小学校，表現力，国語，英語

## 1. はじめに

授業場面で子どもたちに学習内容を視覚的に捉えさせるためのメディアとして、従来からある黒板以外に、プラズマ電子情報ボードやプロジェクター、大判プリンターなどがある。教師の思いから、この中の電子情報ボードをとりあげた。『電子情報ボードの有効な活用方法に関する調査研究報告書』( <http://www.cec.or.jp/e2a/ekokuban/H16ekCD/pdf/03-01.pdf> ) から明らかなように、電子情報ボードは、教材の提示や書き込みなどに効果があり、とくに関心・意欲・態度が高まるという結果が示されている。

そこで本実践は電子情報ボードの特性を活かした授業実践から、どのような学習効果があがったかを事例として紹介するものである。

## 2. 実践事例 2年国語

低学年での書くことを中心とした表現力の向上をめざした実践である。文での表現力向上には「文を組み立てること」「文と文をつなぐこと」が低学年ではカギになっているのではないかと考えた。書くことを中心として表現力を高めるために、画像を用いながら、「組み立て」「つなぎ」を考え出していく効果的な手だてとして、電子情報ボードを活用した。

- (1) 対象 2年生 30名
- (2) 単元 「3枚の絵から、お話をつくろう」 ～表現力を高めるための画像利用～
- (3) 目標 3枚の絵をもとに、想像を広げて「はじめ・中・おわり」の組み立てを考えて、お話を書く。
- (4) 使用した機器等 プラズマ電子情報ボード、光村図書デジタル教科書(2年下)、デジタルカメラ
- (5) 実践のたまかな流れと電子情報ボードの活用場面

お話づくりをするために、3枚の絵(図1)を提示し、さまざまな場面を想像することからはじめた。3枚の絵の順序や題名は自由とし、話の組み立てやつなぎ言葉に気をつけてお話を考えさせた。お話ができた後、友だちの前で発表することにした。電子情報ボードは、主にお話の発表で使った。電子情報ボード上であるので、3枚の絵の順序を簡単に入れ替えることができ、紙芝居風にお話することができた。



## (6) 効果

電子情報ボード上でも、3枚の絵の順序を自由に入れ替えることができることで、大画面を前に見ながら、発表がスムーズにいき、楽しく学習ができるようになった。聞いている側の子どもたちも、想像をふくらませながら、聞き入ることができた。

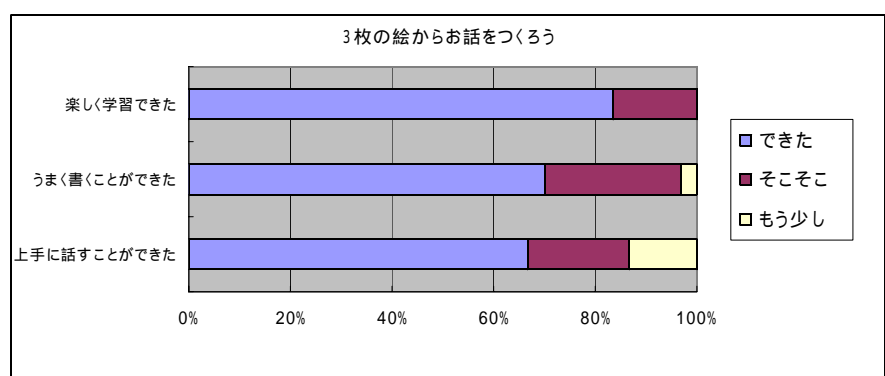


図2 「3枚の絵からお話をつくろう」自己評価

### 3. 実践事例 2年英語

金沢市では、未来を担う人材を創生するため、平成17年度から、小学校第3学年以上に「英語科」を設け、小学校から中学校までの一貫した英語教育を行う「『世界都市金沢』小中一貫英語教育特区」の認定を国から受けた。1, 2学年でも、年間10時間程度の英語学習を行っている。低学年ではあまり難しい英語の学習を行わず、親しみやすい単語による簡単な活動やゲームを中心にし、わかりやすく、やさしい学習に心がけている。画像と音声と同時に流れ、わかりやすく集中して学習に取り組める電子情報ボードによって、子どもたちの言語に対する不安も取り除くことになり、コミュニケーション力もついてきている。



図3 金沢市小学校英語デジタル教材から

- (1) 対象 2年生 30名
- (2) 単元 「動物たち (Animal) を言い表そう」 ~わかりやすくするための画像利用~
- (3) 目標 動物の名前を言ったり、聞いたりしようとする。
- (4) 使用した機器等 プラズマ電子情報ボード、Sounds good 金沢市小学校英語デジタル教材 7CD Set



図4 「マジックウインドウ」を利用して、動物名前あてゲーム

#### (5) 実践の大きな流れと電子情報ボードの活用場面

各学校のサーバーにインストールされている「Sounds good (デジタル教材)」を電子情報ボードから立ち上げ(図3) いろんな動物の名前を、映像と同時に発音を聞く。また、図4のように「マジックウインドウ」を使えば、全員が一斉に電子情報ボードを注目し、楽しくゲーム感覚で名前を習得していくことができる。また、会話形式の活動の時は、電子情報ボード上に、ヒントの書き込みを入れ、わかりやすく活動できる工夫を行うこともできる。



写真1 英語の授業風景

#### (6) 効果

電子情報ボード上で画像や文字を示しながら、同時にネイティブな音声も流れることで、子どもたちにはわかりやすい学習になり、発音もだんだんとうまくなってきた。

### 4. おわりに

電子情報ボードとプロジェクターの特性による、指導の違いや、子どもから見た学習効果をさらに明確にして、実践研究を深めていきたいと考えている。

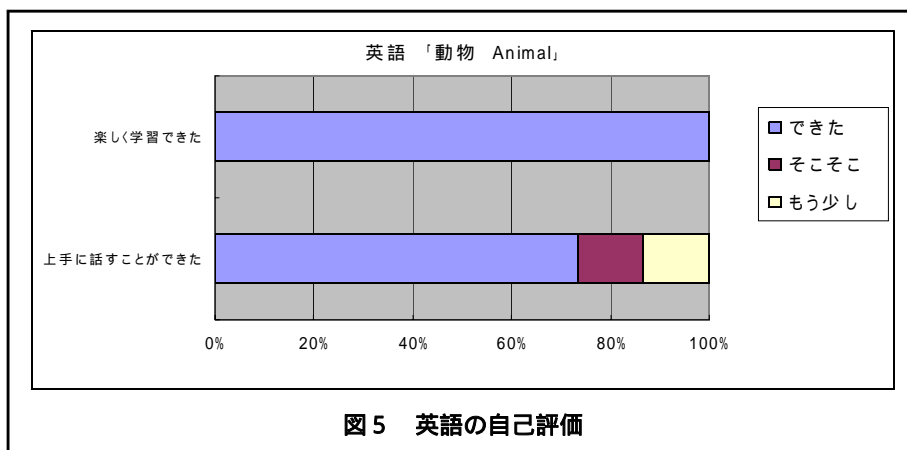


図5 英語の自己評価